



誠・力・光

令和元年10月18日

練馬区立北町中学校

学校だより 6号

## 自ら高める生徒の総合力

校長 中嶋 雅彦

先月は15号、今月は19号と台風の被害が続いています。練馬区の公立小、中学校では、10月12日(土)は、学校公開日となっていました。その前々日に休校が決まりました。台風19号の強さ、大きさが近年例をみないほどのものだったことがうかがえます。

その日、本校では、後期生徒会の認証式や海外派遣報告会を行う予定でした。10月2日の後期生徒会選挙を受けて、各学年、各学級で選出された生徒会役員、各委員会の委員長並びに委員が認証される活動が始まる日でした。翌週のはじめ15日(火)に認証式が行われ、23日への生徒総会の準備や活動内容の検討が各学級で始まりしました。321名は社会生活の中では少ない人数かもしれませんが、本校の生徒全員が生徒会長、委員長という求心力を活用し、生徒自らの力で、お互いが助け合い、過ごしやすく安心・安全な学校を作り上げるべく活動を行っています。

学校では一人では、うまくできないことも人と人が協力することにより、大きな力を生み出し、その解決を図っていくことを数多く体験させます。そして、子供たちが社会に出たのち、協力し課題を解決する力を身に付けさせています。生徒会活動においては、生徒会長がリーダーですが、学校では、その活動その活動で、その時間その時間で中心となる生徒が変わります。そして、すべての生徒にあらゆる場面、機会で、その活動の総合力を高めるにはどのようにすればよいかを考えさせています。話し合いがうまくいくとき、自分の考えがみんなにわかってもらえてとき、反対意見を言われたとき、話を聞いてもらえなかったとき、数多くの人との関係によって、自ら、または相手を変化させていく方法を生徒は身に付けていきます。本校では、令和3年度から全面実施される新学習指導要領への取り組みとしてはもちろんですが、生徒会活動だけではなく「特別の教科 道徳」や各教科の授業において、自分の考えをもとに討論したり書いたりするなどの言語活動を充実させ、生徒が多様な見方や考え方に接しながら、さらに新しい見方や考え方を生み出していく機会を作るよう授業改善に取り組んでいます。

今月9日には、ノーベル化学賞にリチウムイオン電池を開発した吉野彰さんが選ばれました。吉野さんは、小学校の担任であった女性の先生がマイケル・ファラデーの「ロウソクの科学」を読みなさいと勧められたことが発端で今の自分があると述べています。本校でも、生徒一人一人の個性を磨き、その輝きを発する始まりとなる教育活動を推進していきます。教職員の組織力を高めていくとともに、保護者の皆様や地域の方々のお借りしてより良い学校教育を推進する決意です。

また、11月2日(土)には、第61回文化祭が行われます。是非、生徒の日ごろの成果をご覧くださいればと存じます。

# よろしくお願ひします!!

体育講師 坂野 春美 先生

10月1日より、宍戸先生の妊娠に伴う実技軽減として体育の時間は一緒に授業を行います。明るく活発な先生で、生徒たちと元気よく授業を行っています。

10月より保健体育の講師として勤務することになりました、坂野春美です。

北町中に来てやっと3週間ですが、とても明るく素直で一生懸命なみなさんのおかげで、楽しく授業をすることができています。お話するのが大好きなので、女の子だけでなく普段あまり関わることのない男の子も、気軽に声をかけてもらえればと思います。

これからどうぞよろしくお願ひいたします!

## 連合陸上大会!



9月20日(金) 練馬総合運動場公園で行われ、頑張ってきました。

【男子】1、2年砲丸投げ	第1位	佐藤雄大	10m19
(支部対抗陸上競技大会に練馬区代表として参加することになりました。)			
2年100m	第5位	津村昌良	12'29
2年4×100mR	第4位	大場大輔 大野ルイス 佐藤雄大 津村昌良	48'25
【女子】3年走高跳	第6位	奥山彩	1m30
共通1500m	第8位	小池琴羽音	5'43'55

## 先生たちも頑張っています!

10月16日(水)練馬区教育委員会の先生方が来校し、3・4校時の全クラスを参観されました。5校時は3年3組の国語の研究授業で、本校の先生方全員も参観しました。

まず、学校に到着し玄関に入った瞬間から、どの生徒からも気持ちのいい挨拶で迎えられたことに感動されていました。挨拶なんて当たり前と思われがちですが、人の気持ちを挨拶で変えられるなんて、とても素晴らしいことだと思いませんか。これからも、この清々しい挨拶を継続していける生徒であることを願います。

今の生徒が大人になる頃の社会は、職業も随分と変わり、課題を自ら乗り越えていかなければならない時代になるだろうと言われています。そこで、今までの主流であった教師の講義方の一斉授業ではなく、生徒自身が主体的に考え、他の意見を取り入れ深めていく学習形態に変えていこうという流れになりました。そのために、ICT機器(電子黒板等)を使いわかりやすい授業、グループワークによる他者との意見交換等で主体的に学ぶ授業へと変わりつつあります。しかし、ときには、講義型も必要になります。

